

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1. 1 環境教育・学習の推進

環境教育推進事業 **NEW!**

1 目的

子どもたちの主体的な環境学習や具体的な実践活動を促すため、こどもエコクラブ活動を普及することにより、次世代を担う子どもたちの環境保全への意識醸成と環境活動の定着化に資する。

2 内容

(1) こどもエコクラブ活動への支援

補助事業	補助事業の内容	補助対象経費
こどもエコクラブ活動支援補助金	・こどもエコクラブの活動経費に対する市町村の補助事業に助成 ・限度額：メンバー及びサポーターの人数に700円を乗じた額 ・補助率：1/2	講師謝金及び旅費、図書購入費、資材及び消耗品費、使用料、賃借料、入館料、通信運搬費、保険料等（食糧費は対象外）

(2) こどもエコクラブの結成支援

県のホームページを通じて活動内容を紹介するなど、こどもエコクラブの広報、PRを充実させ、登録の推進を図る。

(3) こどもエコクラブ活動交流会の実施

こどもエコクラブの交流会を開催し、事例発表や情報交換を通じて活動の活性化を図る。

3 背景

平成18年度の補助制度創設以来、県内のクラブ登録数は順調に増加（平成21年度末：12市町、81クラブ）

こどもエコクラブ活動の広がりは見られるものの、市町村の中には未設置のところもあり、未だ活動に対する市町村間の温度差があるのが現状。今後とも市町村に、こどもエコクラブの活動に対する普及啓発、連携体制の強化を働きかける必要がある。

割り箸回収	こどもエコクラブ交流会



●担当:生活環境部 環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境教育情報」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17857>

衛生環境研究所環境学習・活動支援事業 **NEW!**

1 事業の目的

持続可能な社会の構築に向けて、環境教育・学習の必要性は益々高まっており、当研究所は環境学習の拠点として、引き続き環境に関する情報や体験の機会を積極的に提供する。

環境教育・学習の機会や場の提供により、県民への環境に関する知識の普及、環境保全意識の高揚を図る。

2 事業内容

(1)小・中学校等の総合学習等の支援

教育現場のニーズに応じ、施設見学や出前により環境学習を支援する。

(2)住民参加型環境マップ調査

東郷池及び周辺河川の水質について、県民の参加を募って調査を行い、マップ化する。

(3)施設公開イベントの開催

施設の一日公開を行い、県民向けに研究所のPRと調査研究実績等の紹介を行う。

(4)環境学習用資機材の整備・貸出し

環境測定キット、環境図書等の整備・貸出しを行う。

●担当:生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより
「環境学習」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=42106>

「施設見学・環境学習申込」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=63472>

とっとり県民カレッジ事業 **NEW!**

1 事業の目的

県民を生涯学習へいざなうため、そのきっかけづくりとして、総合的・体系的な学習機会や場の

確保を行う。

2 事業内容

主催講座「未来をひらく鳥取学」において、「自然・環境」の科目を設定。



昨年度の講座の様子

●担当：鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 生涯学習振興係 電話0857-26-7944

参考URL

鳥取県教育委員会事務局家庭・地域教育課のwebサイトより

「とっとり県民カレッジ」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=47333>

船上山少年自然の家・大山青年の家 **NEW!**

1 事業の目的

青少年を船上山や大山の自然に親しませ、自然の中での集団宿泊訓練等を通じて健全な育成を図る。

2 事業内容

キャンプ、ハイキング、カヌー、スキー、星座観察など、施設が行う主催事業

●担当：鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 電話0857-26-7519

○「船上山少年自然の家」平成22年度開催事業一覧

事業名	期 日	対 象	募集人員	概 要
船上山さくら祭り	4月25日(日)	一般	千名程度	万本桜咲く船上山で楽しいイベントがいっぱい！桜に囲まれて家族や友達と楽しい1日を過ごしましょう！
ファミリーハイキング	5月9日(日) 10月31日(日)	小中学生と家族	80名	新緑と紅葉の船上山を、動植物などの自然解説を聞きながら、家族でのんびりハイキング！
ロッククライミング教室	5月29日(土)～30日(日) 9月25日(土)～26日(日)	小学5年生～中学生	各15名	高くそびえる船上山の屏風岩にチャレンジ！頼れるのは自分の腕と足だけ。今、自分の力で30mの岩壁を乗り越えよう。

ちっちゃい探検隊	6月19日(土)～20日(日) (※兼スキルアップセミナー) 11月20日(土)～21日(日) 3月5日(土)～6日(日)	小学1年生～3年生	各36名	家族の元を離れてドキドキしながらのお泊り会。野山をかけめぐり、ワクワクするお泊りで、ちっちゃい冒険にチャレンジしよう！
山陰地区 青少年教育指導者セミナー	6月29日(火)～30日(水)	青少年教育施設職員と学生	15名程度	山陰地区の青少年教育施設職員と学生が集まり、企画事業に関する情報や指導のノウハウを共通理解し、企画運営の充実を図る。
船上山の夏を楽しむ	7月17日(土)～18日(日)	小学4年生～中学生	40名	船上山の夏をダイナミックに感じる活動を満喫しませんか。ダム湖の活動など、船上山の自然も人も丸ごと楽しもう！
キッズアドベンチャー	スタッフ事前研:7/3～4 本キャンプ:8/1(日)～6(金) 同窓会:12/18～19	小学4年生～6年生 (同窓会は、家族も参加可)	36名	「隠岐の島から船上山へ110km！」雄大な自然の中、キャンプ生活しながら船とロードウォークで後醍醐天皇の足跡をたどるダイナミックなアドベンチャーウォーク。自分に挑戦する絶好のチャンス！
体験活動指導者養成講座	8月17日(火)～18日(水)	学校職員 社会教育指導者等	40名	体験学習法の目的・ねらい・効果についてプログラムを受講し、指導方法の修得や、コミュニケーション能力育成の指導力を向上させるチャンス！
ファミリーキャンプ	9月4日(土)～5日(日)	小・中学生とその家族	20家族	ダム湖活動・谷川探検などの親子選択活動、野外炊飯などの活動を親子で体験。親子で夏の船上山を満喫！
秋祭り生き生き船上山	10月2日(土)～3日(日)	一般	500名程度	船上山少年自然の家の感謝祭！ピザ・バームクーヘン・アイスクリーム作り、カヌー体験、クラフト、各ゲームコーナーなど大人から子どもまで楽しめます。
船上山の秋を楽しむ	11月6日(土)～7日(日)	小学4年生～中学生	40名	船上山の秋を家族や友だちと満喫しませんか。野外炊飯などの活動を通じて新しい友達をつくるチャンス！
船上山ウィンターキャンプ	1月22日(土)～23日(日)	小学5年生～中学生	25名	真冬の船上山で、キャンプ生活しながら、ソリ遊びや歩くスキー・スノーシューでの船上山登山など、雪山遊びの！雪と自分がグッと近くなることまちがいなし！
		小・中学生と家		銀世界の中で雪遊び。遊びや歩くス

船上山ウインターフェスティバル	2月5日(土)～6日(日)	族及び一般	70名	キー・スノーシューハイキング等、冬の船上山を満喫。みんなで雪の森や林と仲良くなろう！
ナンカレー祭り	2月20日(日)	小・中学生と家族及び一般	60名	真冬の船上山で、心も体も温まるナンカレー作りを通して、家族とのふれあいや参加者との交流を深める。
早春の船上山を楽しむ	3月12日(土)～13日(日)	小・中学生と家族及び一般	60名	今年度の船上山主催事業に抽選でもれた方々を中心に、早春の船上山を思いっきり楽しんでもらうとともに当施設の活動を広く知ってもらう。

連絡先：県立船上山少年自然の家（電話0858-55-7111）

参考URL

鳥取県立船上山少年自然の家のwebサイトより
「鳥取県立船上山少年自然の家」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=37749>

○「大山青年の家」平成22年度開催事業一覧

事業名	期 日	対象・定員	内容・目的
春の親子フェスティバル	5月2日(日)日帰り	どなたでも 定員なし	様々な体験コーナーや親子で楽しめるゲームがたくさんあります。休日のひとときを青年の家で楽しみましょう。
大山ファミリー登山	5月9日(日)日帰り	小学3年生以上の家族 50人	家族で励まし合って大山山頂を目指します。新緑の大山で様々な発見がありますよ。
親子エンジョイカヌー	5月22日(土) 5月23日(日) 両日とも日帰り	小学生以上の親子 両日66人ずつ	伝説の赤松の池で、親子でカヌーを楽しみます。
はじめての冒険 (中学年)	6月12日(土)～13日(日) 1泊2日	小学3～4年生 36人	小学校中学年を対象にしたキャンプ。
親子ふれあいキャンプ	7月3日(土)～4日(日) 1泊2日	小学生以上の親子 100人	テント設営、野外炊事、キャンプファイヤー、カヌー等、親子でいきいき体験活動！
生涯学習実践道場	7月 9日(金)日帰り	生涯学習関係者 青年、一般 100人	生涯学習実践者の発表を聞き、今後の生涯教育の実践に役立てましょう。
大山わくわく探検隊	8月2日(月)～6日(金) 4泊5日	小学校5年生～中学生 36人	自然のすばらしさを体験すると共に、生きる力を養います。4日目は大山山頂小屋に宿泊し、日の出を見ます。
体験活動指導者養成事業 (前期、後期)	8月19日(木)～20日(金) 11月24日(水)～25日(木) いずれも1泊2日	教員、社会教育指導者、 教職をめざす学生等 各40人ずつ	PAプログラムの実践的体験、講習を通しての指導者育成事業。

はじめての冒険(低学年)	夏:8/28(土)~29(日) 秋:10/30(土)~31(日) いずれも1泊2日	小学1~2年生 各36人	小学校低学年を対象にした初心者向けのキャンプ。
秋祭り	10月9日(土)~10日(日) 1泊2日	どなたでも 日帰り参加は定員なし 宿泊参加は165人	青年の家を県民の方に開放します。 様々なゲームや体験コーナーを楽しんでください。初日の夜はキャンプファイヤーで盛り上がるよ!
親子エンジョイスキー	1月15日(土) 1月16日(日) 両日とも日帰り	小学1~4年生の親子 両日100人ずつ	青年の家特設ゲレンデでスキーの基礎を学び、親子で楽しめます。初心者大歓迎です。
歩くスキーのつどい	2月5日(土)~6日(日) 1泊2日	中学生以上 50人	クロスカントリースキーの基礎を学び、冬の大山をツーリングして楽しめます。アニマルトレッキングも楽しいよ。

連絡先: 県立大山青年の家(電話0859-53-8030)

参考URL

大山青年の家のwebサイトより「大山青年の家」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4308>

氷ノ山自然ふれあい館 響の森 **NEW!**

氷ノ山自然ふれあい館では、氷ノ山の豊かな自然について新鮮な方法で魅力的に展示、紹介しているほか、氷ノ山自然観察会やフィールドゲーム、自然観察クイズラリーなどの野外活動、草木染めや押し花アートなどの創作体験をはじめ、様々な自然体験プログラムで氷ノ山の自然の魅力をたっぷり楽しむことができる。

○平成22年度イベント内容一覧(抜すい)【詳しくはホームページ等で確認】

イベント名	期 日	定員	料金	申込
○新緑祭「いつでもつくれるコーナー『かざぐるま』」 ○クルー企画「地球をわかちあおうよ!~動植物画展~」 など	4/29~5/9	毎日30名 ほか	無料 ほか	不要(先着順) ほか
○新緑祭「木のマイ箸づくり」・「木の年度細工」 など	5/1~5/3	40名 ほか	200円 ほか	不要(先着順) ほか
○氷ノ山自然観察会「新緑の氷ノ山」	5/8	なし	100円	不要(10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要)

○森の幼稚園	5/23	20名	500円	3日前(先着順)
○氷ノ山自然観察会 「地形・地質の観察会」	6/6	なし	100円	不要(10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要)
○県立博物館共催 「学芸員と楽しむ『鳥取砂丘』」	6/20	30名	無料	5/27～博物館へ
○誕生祭「体験コーナー」・「響きの森クイズラリー(ガイド付き)」など	7/17～7/19	なし	無料ほか	不要
○いつでもつくれるコーナー「小枝キーホルダー」 ○展示「氷ノ山の生物多様性～ぼくらはみんないきている～」	7/20～8/31	なし	200円(展示無料)	不要
○さとう博士の昆虫観察「昆虫キャンプ」	8/7,8	30名	大人 8,000円 子ども 6,000円	7日前(先着順)
○お盆企画創作体験「昆虫をつくらう」	8/13～8/15	60名	150円	不要(先着順)
○スペシャル観察会「田中昭彦先生と歩く植物観察」	9/4	20名	500円	3日前
○氷ノ山自然観察会「秋の氷ノ山登山」	9/19	30名	100円	不要(先着順)
○県立博物館共催「おちばの中のモンスターをさがそう! in氷ノ山」	10/16	20名	無料	前日まで(先着順)
○秋企画「ネイチャーゲーム」	10/31	なし	100円	不要(10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要)
○氷ノ山自然観察会「晩秋の氷ノ	11/3	30名	100	必要(先着順)

山登山」			円	
○創作体験「クリスマス飾りをつくろう」	11/20,21,23	毎日30名	200円	不要(先着順)
○県立博物館共催「はじめてのバードウォッチングin湖山池」	12/4	20名	無料	11/11～博物館へ
○氷ノ山自然観察会「雪上観察」	1/15	なし	100円	不要(10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要)
○雪と遊ぼう	1/16	60名	大人 1,200円 4歳～中学生 700円	7日前(先着順)
○雪と遊ぼう	2/20	60名	大人 1,200円 4歳～中学生 700円	7日前(先着順)
○氷ノ山自然観察会「雪上観察」	3/12	なし	100円	不要(10名以上の団体での参加は3日前までに連絡必要)

連絡先: 氷ノ山自然ふれあい館 響きの森(電話0858-82-1620)

●担当: 生活環境部 公園自然課 自然公園担当 電話0857-26-7200

参考URL

氷ノ山自然ふれあい館のwebサイトより

<http://www.hibikinomori.gr.jp/>

小・中学校における環境教育の取組 **NEW!**

1 各教科等における取組

(1) 総合的な学習の時間で、「環境」をテーマにした探究活動に積極的に取り組み、地域に根ざした体験活動を重視した実践を展開する。

地域の自然体験・環境調べ、地域の環境保護活動(水質調査活動や

(例) 希少植物の保護等)リサイクル活動、

地球規模の環境の学習、資源・エネルギーの学習、ビオトープづくり
等

(2) 全ての小・中学校において、社会科、理科、生活科、家庭科、技術・家庭科などの教科学習で、環境に関わる内容を学年に応じて系統的に学習する。

(3) 各学校で「環境教育全体計画」を作成し、学校体制で環境教育・環境学習を推進する。

【全体計画の作成状況】(平成21年度末現在)

小学校:81校(58.3%) 中学校:19校(31.7%)

2 児童会活動・生徒会活動、学級活動等における児童・生徒の自主的な環境に配慮した活動

(1) 鳥取県版環境管理システム(TEASIII種)認証を取得し、各学校で計画した「環境に配慮した活動」を実施する。

【TEASIII種の取得状況】(平成21年度末現在)

小学校:19校(13.7%) 中学校:9校(15.0%)

(2) 児童会や生徒会の呼びかけで学校全体で特色のある活動に取り組んだり、児童・生徒が学級活動として自主的に環境に配慮した活動に取り組んだりする。

(例) 身近な動植物の飼育栽培活動(校舎のグリーンカーテン化 等)

校舎内外や地域の環境美化・ごみ収集活動

学校でのゴミの分別や削減

学校での省エネルギー活動 等

●担当:鳥取県教育委員会事務局 小中学校課 指導係 電話0857-26-7915

参考URL

鳥取県教育委員会事務局小中学校課

<http://www.pref.tottori.jp/kyouiku/syoucyu/sho-chu.htm>

県立高等学校での環境教育の推進 **NEW!**

1 事業の目的

(1) 環境教育推進校を指定し、鳥取県版環境管理システム(TEAS)を導入して取組みの深化を図り、環境教育の拠点校をつくる。→ 県立高等学校において、毎年2校のTEASII種新規認定を目指している。

(2) 各学校が企画した環境教育推進活動を支援する。

2 事業内容

平成22年度指定校:鳥取西、鳥取湖陵、鳥取緑風、智頭農林、米子工業、米子白鳳、境、日野

(1) 鳥取県版環境管理システム(TEAS)導入の支援

ア 先進校、先進地域への視察

イ 環境教育推進活動への支援

(2) 研究大会・研修会等への参加

ア 環境教育に係る大会への参加

イ 環境保全のための教育の推進のための指導者養成を目的とした研修

ウ 環境教育リーダー研修基礎講座

(3) 環境教育推進活動への支援等

(1) 体験的学習の充実

(2) 講演会・研修会等の開催

(3) 環境教育学校企画活動の支援

○平成22年度環境に関する学科、コース、系列の設置

学校名	学科、コース、系列	環境に関連した特色ある科目
鳥取工業高等学校	都市環境科(3年生)	地球環境化学、環境監査、環境分析
	建設工学科(1,2年生)	
鳥取湖陵高等学校	緑地デザイン科	地球環境、環境制御
鳥取緑風高等学校	総合学科	フィールドワーク
青谷高等学校	総合学科(自然科学系列)	生活環境、地球環境
智頭農林高等学校	生活環境科	環境科学基礎
倉吉農業高等学校	環境科学科、環境土木科	環境科学基礎、環境保全
米子高等学校	総合学科(環境科学系列)	環境科学
米子南高等学校	生活文化科(環境文化コース)	生活環境
米子工業高等学校	都市環境科	環境化学、地球環境化学、応用環境化学
日野高等学校	総合学科(アグリライフ系列)	環境科学、エコライフ

●担当:鳥取県教育委員会事務局 高等学校課 指導係 電話0857-26-7916

参考URL

鳥取県教育委員会事務局高等学校課のwebサイトより

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=76399>

米国バーモント州への青少年派遣 **NEW!**

1 事業の目的

教育、環境、文化といった分野を基に現地の青少年等と交流を行うことで、未来を背負う青少年の国際感覚を養い、視野を広げるとともに、豊かな人間性の形成を目指す。同時にバーモント州との更なる交流の促進を図る。

2 事業の内容

バーモント州内の民間環境交流団体GATPと連携の上、県内の高校生等を2週間程度派遣し、ホームステイをしながら、現地の高校生と共にフィールドスタディを中心に環境学習や学校交流を展開する。

派遣時期等(予定):平成23年3月 派遣人数 生徒15名程度

3 生徒の募集方法

県HPや教育委員会を通じて募集(予定)



●担当:文化観光局 交流推進課 交流支援担当 電話0857-26-7079

参考URL

文化観光局「国際交流」のwebサイトより

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=6140>

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1. 2 環境配慮活動の推進

鳥取県版環境管理システム(TEAS)普及事業 **NEW!**

1 目的

鳥取県版環境管理システム審査登録制度(愛称:TEAS(テス))の普及により、県内の事業者、団体等の各種組織における環境配慮活動を推進する。

2 事業の内容

事業者等が構築して取り組む環境管理システムのTEAS規格への適合性を審査し、登録する。

TEAS規格の種類等については、次表のとおり。

○鳥取県版環境管理システムの種類

区分	TEAS I 種	TEAS II 種	TEAS III 種
対象	高度な環境管理を行う企業等	I 種以外の企業等,高等学校	家庭・地域、小・中学校・特別支援学校、店舗・小規模事業所
登録	鳥取県の認定する審査登録機関	鳥取県	鳥取県
審査	同上	鳥取県の認定する審査登録機関へ委託	鳥取県
経費	有料	無料	無料
有効期間	1期3年 (更新可)	1期3年 (更新可)	1期3年 (更新可)
その他	ISO14001へ移行を目指す企業等に有効	ほとんどの組織で導入可能な環境管理システムとして有効	EMSを体験し、環境問題への理解を深めるために有効

【I 種】

平成19年度から、I 種の審査登録については、鳥取県の認定する審査登録機関が有料で実施。(新規に登録する際等の事業者等の負担軽減のため、補助制度を設けていたが、平成21年度末をもって廃止とした。)

【II 種】

平成19年度から、審査を鳥取県の認定する審査登録機関に委託。審査登録機関との連携を図りながら、円滑な審査登録に努める。

【II I種】

店舗・小規模事業所、家庭・地域での取り組みを推進。学校については県・市町村教育委員会と連携して普及に努める。

【支援制度】

○TEASに取り組む事業所を対象として、取り組みを支援するTEASサポーター制度を実施

○TEASに取り組む学校については、環境学習等を支援するため、とっとり環境教育・学習アドバ

イザーを派遣

○鳥取県環境推進企業協議会会員企業によるTEAS取組高校の見学受入

●担当:生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7874,7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「TEAS(鳥取県版環境管理システム)審査登録制度」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17890>

環境にやさしい県庁率先行動計画の推進 **NEW!**

1 事業の目的

県が、自らが一つの事業者・消費者としての立場から環境に配慮した事務及び事業を率先して実践し、環境への負荷の低減を図るとともに、市町村、事業者、県民の行う自主的な取組を促進する。

2 事業の内容

平成20年4月に「環境にやさしい県庁率先行動計画(第3期)」を策定した。本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画として位置付けており、この計画に基づき、県のすべての機関が、二酸化炭素排出量の削減、ゴミの減量化、グリーン購入等の環境に配慮した事務に取り組んでいる。

また、グリーン購入については、「鳥取県グリーン購入基本方針」(H13.7策定)に基づき、毎年度調達方針を定め、判断基準に適合する物品等の優先購入を推進。

行動計画の実効性を確保するため、庁舎単位での目標管理を導入するとともに、計画期間の最終年となる平成24年度における全体の数値目標を次のとおり設定。

〈環境にやさしい県庁率先行動計画の数値目標〉

二酸化炭素排出量の削減
平成24年度の事務及び事業の実施に伴い排出される二酸化炭素の量を、平成12年度実績排出量から5%以上削減(29,741t以下に)する。(平成12年度(基準年)排出量:31,306t)
二酸化炭素の吸収作用の保全・強化
平成24年度の県有林による二酸化炭素吸収量を、6,160t以上とする。
廃棄物の減量化
平成24年度の事務及び事業の実施に伴い庁舎から排出される可燃ごみの量を、平成18年度実績排出量から25%以上削減(524t以下に)する。(平成18年度(基準年)排出量:699t)
グリーン購入の推進
鳥取県グリーン購入基本方針により策定する調達方針に定める特定調達品目ごとの調達目標値のとおりとする。

●担当:生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7874,7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「環境にやさしい県庁率先行動計画」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=65557>

「グリーン購入に関する情報」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17855>

鳥取県環境管理システムの運用～県庁ISO14001認証取得～ **NEW!**

1 事業の目的

県の事務・事業に係る環境負荷の低減、環境法令等の順守、環境施策の推進等を図るため、環境管理システムの国際規格であるISO14001に沿ったシステムを運用し、継続的な改善を進める。

2 事業の内容

平成12年12月に本庁知事部局でISO14001認証取得後、平成17年度まで年次的に適用範囲を拡大。平成21年4月現在、本庁(警察本部含む。)及び各総合事務所(東部総合事務所福祉保健局及び西部総合事務所福祉保健局を含む。)で取り組み、認証を継続。

【取組内容】

- (1) オフィス活動における環境配慮の推進(共通)
- (2) 公共事業・イベント等における環境配慮の推進(該当課)
- (3) 環境基本計画に沿った環境施策の推進(該当課)
- (4) 環境法令等の順守

平成19年度から、県民オブザーバーの参加による内部環境監査を実施。

●担当:生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7874,7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより「ISO14001」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=64269>

衛生環境研究所ISO14001認証維持事業 **NEW!**

1 事業の目的・効果

- 衛生環境研究所の調査研究・行政検査、事務等に伴う環境負荷の削減とコスト削減
- 環境目的達成状況等を広く公開することによる試験研究機関としての信頼性確保、県民への環境意識の普及啓発

2 事業内容

衛生環境研究所が平成15年度に取得した環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証の登録を継続する

●担当:生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより

「環境への取り組み(ISO14001)」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=39348>

1 事業の目的

普段の生活でよく使われる携帯電話やパソコンを利用して環境家計簿をつけることができる「わが家のエコ録」システムを展開することにより、二酸化炭素排出量がグラフで確認できたり、エコアイデアを掲載・閲覧できたりすることで、家庭での環境配慮活動を支援する。

2 事業の内容

サイトの管理を行うとともに、システムのPR協賛企業の募集等を行う。

【サイト管理】

- ・お知らせ情報: エコイベント情報等を掲載する。
- ・エコアイデア: 利用者から投稿のあったエコアイデアの内容を管理者画面で確認し、公開する。
- ・得点情報: 協賛企業が提供するサービスの情報等を掲載する。
- ・メール送信: 毎月、利用者に電気使用量等の実績入力時期が近づいていることを知らせるメールを送る。その他、必要があればメールを送る。

●担当: 生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7875

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「鳥取県環境家計簿『わが家のエコ録』」
<http://www.ecoroku.jp/>

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1. 3 環境立県県民運動の推進

「環境先進県に向けた次世代プログラム」の推進 **NEW!**

1 目的

各主体ごとに取り組んでいただきたい内容を具体的に明示した、「環境先進県に向けた次世代プログラム」をお示しすることにより、地球温暖化防止や循環型社会づくりなど、わが国をリードする環境先進県を目指し、県民の皆様との協働による環境活動を一層推進する。

2 内容

○プログラムの項目

1 県民との協働による環境活動の新たな展開

1.1 環境日本一とっとり県民運動の展開

県民や事業者などすべての主体の参加と協働による、環境に配慮した取り組みを推進します。

1.2 環境教育・学習の推進

環境教育の参加者数を20万人以上とするとともに、県内の全市町村で1つ以上のこどもエコクラブを登録します。

1.3 環境に配慮した活動を持続的に行うための仕組みの普及

鳥取県版環境管理システム(TEAS)の取得を促進し、取得数を700以上とします。
県内の全小中学校、全高等学校等がTEASを取得します。

2 地球温暖化防止

2.1 二酸化炭素等温室効果ガスの削減

わが国をリードする環境先進県を目指し、二酸化炭素の年間排出量を1990年度から8%以上削減します。

2.2 自然エネルギー等の導入

自然エネルギー等の活用により、その発電量を6万キロワット以上とします。

2.3 森林等による二酸化炭素の吸収

二酸化炭素の吸収源対策として、育成林における間伐面積を16千ha以上とします。

3 循環型社会の確立

3.1 一般廃棄物(ごみ)の排出抑制、リサイクル率の向上

1人1日当たりのごみ排出量を920g以下とするとともに、リサイクル率を25%以上とします。

3.2 産業廃棄物の減量、リサイクル率の向上と適正処理の推進

産業廃棄物の減量・リサイクル率を96%以上とします。

3.3 環境産業の育成

新たにリサイクルビジネスに取り組む企業を30社以上育成するとともに、県認定グリーン商品として60以上の商品を新たに認定します。

4 美しい環境を次の世代へ

4.1 三大湖沼(湖山池、東郷池、中海)の保全再生

三大湖沼(湖山池、東郷池、中海)の水質改善を進めます。

4.2 自然環境の保全と野生動植物の保護

自然環境の保全と野生動植物の保護のための人材を育成し、推進体制を整備します。

4.3 環境資源を活用した魅力ある地域づくり

地域固有の環境資源を活用した地域づくりや花と緑のあふれる快適な地域づくりを推進します。

県民との協働による美しい郷土の魅力アップ活動を推進します。

4.4 まちなみ景観の保全・活用

市町村や地域と連携した景観まちづくり活動を拡大し、景観まちづくり活動に取り組む団体(地区)の数を45団体(地区)以上とします。

4.5 環境にやさしい農業の推進

「鳥取県有機・特別栽培農産物推進計画」に基づき、環境に対する化学物質の投入量を少なくした有機農産物・特別栽培農産物の栽培面積を750ha以上とします。

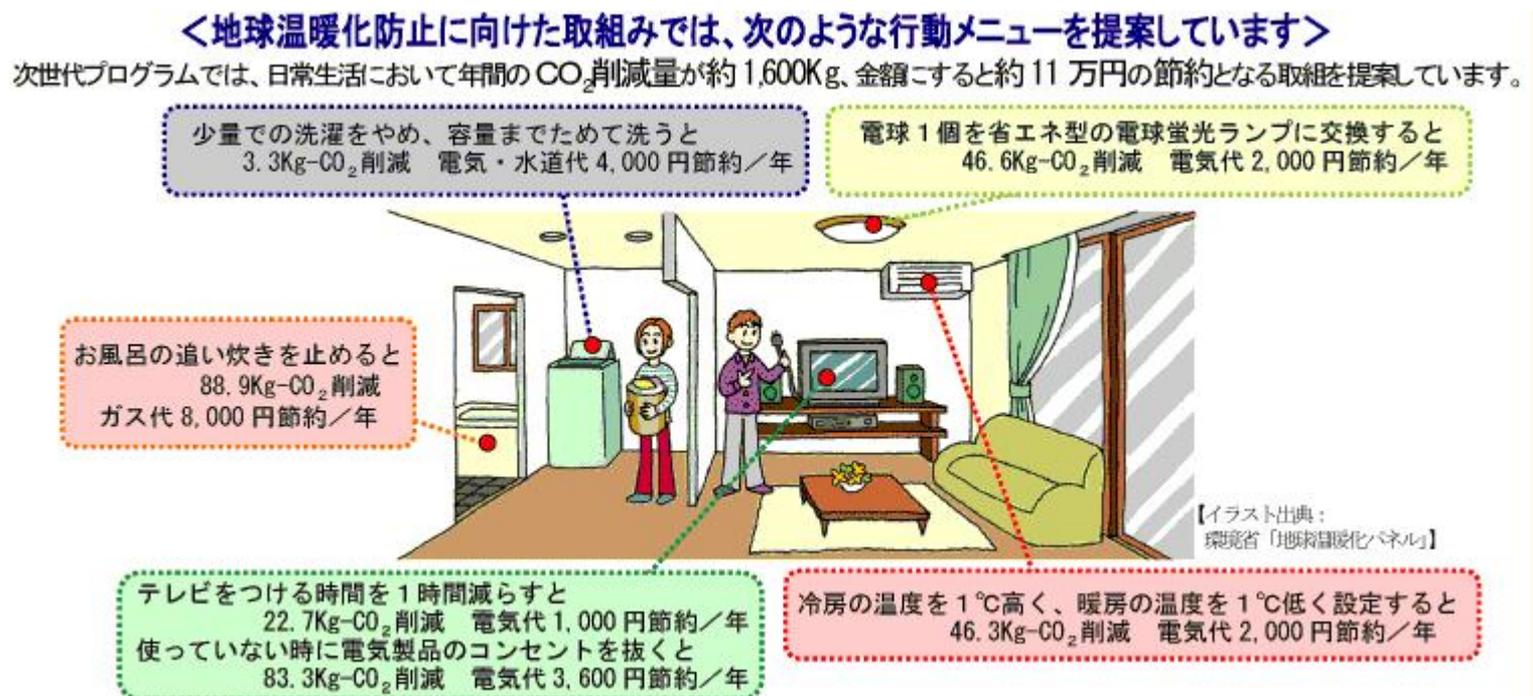
4.6 森林の多面的機能の向上

県民全体で支える森林づくりを推進します。

3 背景、現状、及び課題

- ・鳥取県版環境管理システム(TEAS:テス)の創設や鳥取県駐車時等エンジン停止の推進に関する条例の制定といった県独自の施策を展開し、県民や企業の方々と共に環境への取組を進めてきましたが、県内の二酸化炭素排出量(2006年度実績)は、1990年度比で約10%も増加するなど、一層の取組促進が必要な状況。
- ・このため、平成20年5月に「環境先進県に向けた次世代プログラム」を策定。
- ・平成22年度までの3カ年を目標年度として各種施策を実施中。

4 地球温暖化防止に向けた取組みでは次のような行動メニューを提案しています



● 担当：生活環境部 環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境先進県に向けた次世代プログラム」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=77890>

1 事業の目的

「とっとり環境ネットワーク」が実施する環境活動等を支援し、県民と協働して環境先進県を推進する。

2 背景、現状、及び課題

地球温暖化防止活動など環境にやさしい行動を行う様々な団体や企業、個人が集まり、各種の情報交換や環境活動への参加呼びかけなど行う“とっとり環境ネットワーク”が平成17年6月に設立された。

環境月間である6月を中心に、独自に設定する「とっとり環境デー」事業を実施して、環境立県に向けた活動の輪を一層広げていく取組を行っている。

3 事業の内容

○とっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運営を委託(H22年度～)

○とっとり環境ネットワークが「環境先進県」を目指して実施する次の普及啓発事業などに対して、補助金を交付するもの。

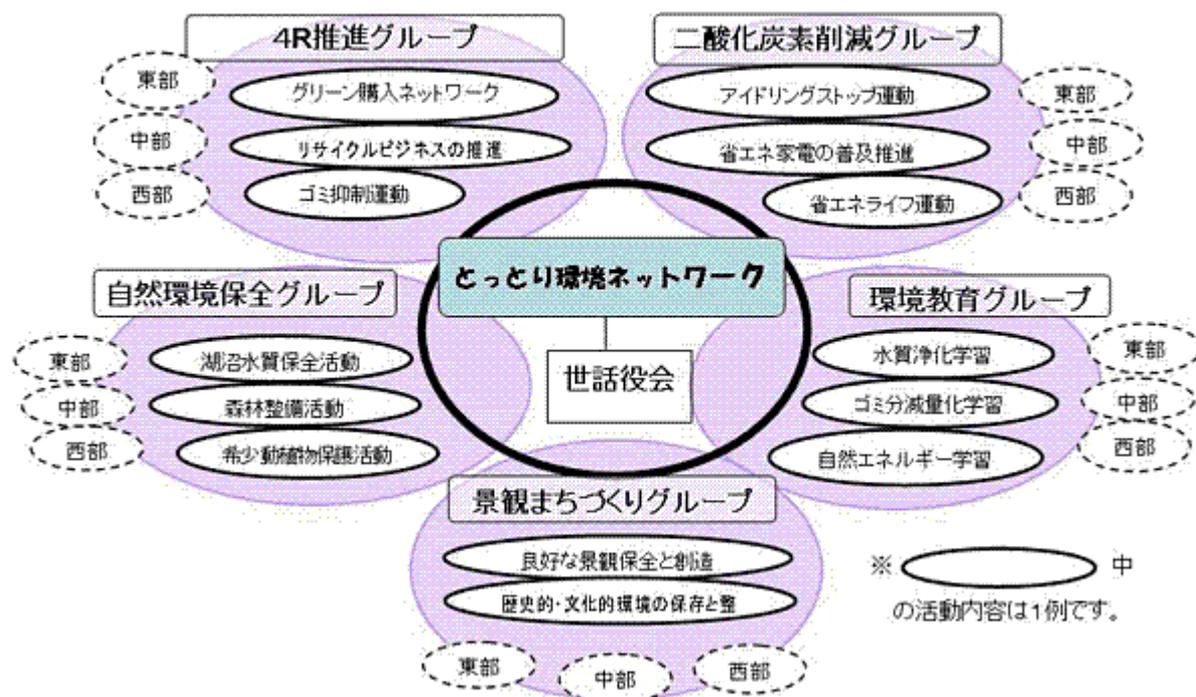
(1) ネットワーク運営事業(補助率10/10) 全体会(1～2回/年)、世話役会(6回/年程度)の会議会場の借上、ネットワークの役員(コーディネーター)の世話役会出席旅費、ネットワーク事務局の維持管理経費及び事務局職員の人件費等

(2) とっとり環境デー等広報事業(補助率10/10) 「とっとり環境デー」を中心に環境活動の実施を呼びかけ、県内随所で実施される環境イベントなどの情報を広く県民に周知を図るポスター、チラシの作成、配布

(3) とっとり環境デー等普及啓発事業(補助率4/5) とっとり環境デーなど環境先進県を推進する各種事業を支援

- ・とっとり地球生物サミットinよなご(生物多様性についての講演会等)の実施
- ・環境学習出前教室の実施
- ・アイドリングストップの普及啓発
- ・大人出前教室(エコ・カフェの実施)
- ・とっとり景観まちづくり体験ツアーの実施

とっとり環境ネットワークのイメージ図



●担当：生活環境部環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「とっとり環境ネットワーク」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=38319>

鳥取県環境立県協働促進事業 **NEW!**

1 目的

県民との協働による環境先進県の実現を目指し、地域住民団体等が実施する環境活動等に対して経費の一部を助成する。

2 内容

区分	事業の概要
自然環境創造支援事業 (ハード事業)	○地域住民団体等が行う自然環境の保全・再生に要する資材費等の経費について助成。 対象：市町村(間接補助) 補助率：1/2 限度額：500千円
環境立県普及・促進事業 (ソフト事業)	○地域住民団体等が一般県民を対象に実施する環境に関するイベント、講演会等の経費について助成。 対象：市町村(間接補助)、地域住民団体等 補助率：1/2 限度額：300千円 (事業効果が地域に限定的な事業にあつては、市町村の間接補助のみ)
環境教育・学習アドバイザー派遣事業	○地域住民団体等が環境保全意識の向上を図るための学習会などに、県の登録アドバイザーを活用する場合、その謝金、旅費について助成 対象：地域住民団体等 補助率：10/10

3 現状及び背景

環境団体や地域住民が実施する環境問題の普及啓発活動に対して助成することで、地域における環境保全活動の広がりを推進してきたところ。(平成21年度補助実績:38団体)

●担当:生活環境部 環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「環境活動への取組みを支援します ～鳥取県環境立県協働促進事業補助金～」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=37720>

鳥取県ライトダウン促進事業 **NEW!**

1 目的

平成15年より環境省提唱のもと、地球温暖化防止の気づきに繋げるため、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼びかける「CO2 削減／ライトダウンキャンペーン」を実施。

更に、洞爺湖サミットの開催に先立ち、低炭素社会の実現に向けて環境問題の大切さを国民全体で再確認していくため、毎年7月7日を「クール アース・デー」とすることを地球温暖化対策推進本部(平成20年6月17日開催)において決定。

これを契機に、鳥取県庁でも20年度から職員に対する意識啓発及び県民への省エネルギー活動推進の普及啓発を目的として、本キャンペーン に参加。

22年度も率先行動計画の一環として、ライトダウンの取組みを全庁的に行い、併せてイベントを実施する。

2 概要

○ライトダウンの実施と関連施策

- ・全庁ライトダウンの実施(7月7日 午後8時～10時)
- ・一斉退庁、19時以降消灯日の設定
- ・ライトダウンイベントの実施

○普及啓発

- ・県政だより、ホームページ等によるPR



昨年のライトダウンイベントの様子
(鳥取県庁)

●担当:生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室 電話0857-26-7879

●担当:生活環境部 環境立県推進課 ISO担当 電話0857-26-7875

参考URL

環境省ライトダウンキャンペーンwebサイトより
<http://coolearthday.jp/>

とっとりエコフェスタ2010実施事業 **NEW!**

1 目的

地球温暖化防止の普及啓発を県民運動として推進するため、ガイナーレ鳥取、環境省(中国四国地方環境事務所)と連携し、地球温暖化防止の普及啓発のための総合的なイベントを開催する。

また、「とっとり発グリーンニューディール」の成果や取組みも、広く県民にPRする。

2 内容

(1)ガイナーレ鳥取との連携

時期:平成22年7月～10月

場所:とりぎんバードスタジアム又はどらドラパーク米子東山陸上競技場

概要:パネル展示(企業、行政、NPO等)

実物展示(エコカー、省エネ機器、風力発電機など)

試合前、ハーフタイム時に温暖化防止・4RのPR

4Rアンケートに協力いただいた方にはエコ箸などを配布

(2)環境省(中国四国地方環境事務所)イベントとの連携

時期:上記ホームゲームのうち1日(秋頃)

場所:米子市東山体育館等

概要:パネル展示(企業、行政、NPO等)

体験コーナー

環境省3R推進中四国地方大会と併催

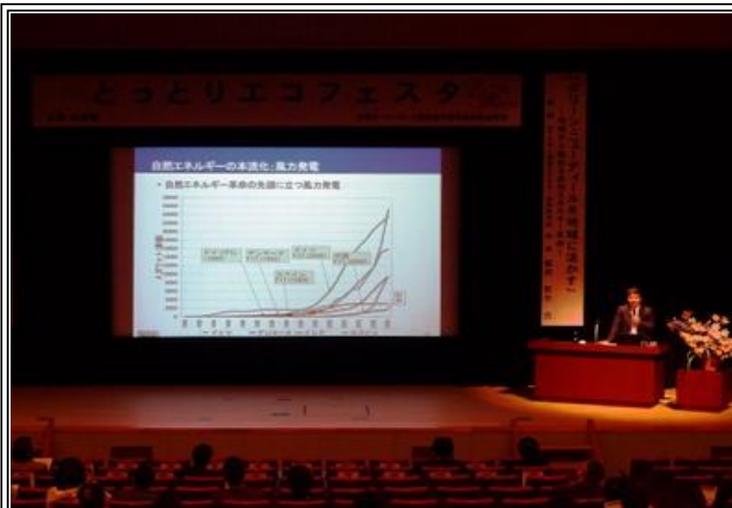
3 背景、現状、及び課題

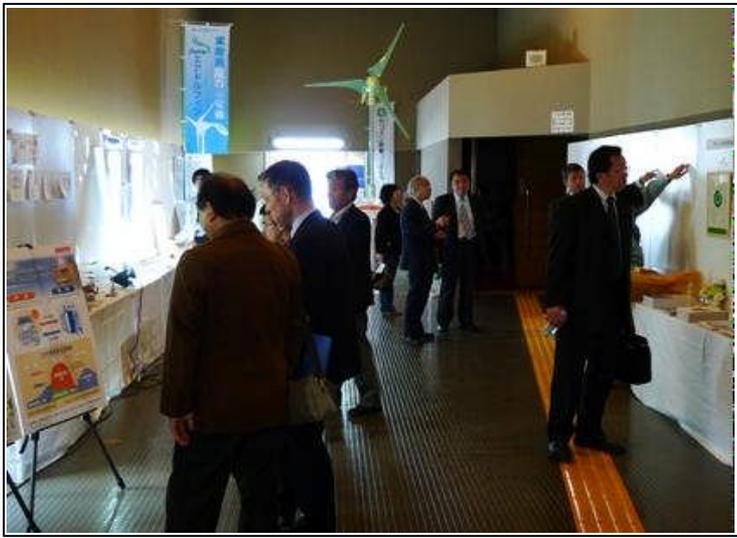
・温暖化防止の取組みを県民運動として広げるためには、特に二酸化炭素排出量が増加している家庭部門への働きかけが重要。

・「とっとり発グリーンニューディール」で描いた未来図を現実のものとするためには、様々な取組みに対する県民の理解が不可欠

・こうした取組みをスポーツイベント等と協働で行うことで、集客とPRの相乗効果を図り、県民運動の取組み強化を図る。

○昨年度のエコフェスタの様子



講演の様子(飯田哲也氏)	新聞紙マイバッグ作り
	
ロビー展示の様子	段ボールコンポスト作り教室

●担当:生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室 電話0857-26-7879

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより
「環境立県推進課」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3268>

鳥取県環境立県推進功労者知事表彰 NEW!

1 目的

県内において環境保全のための実践活動、技術の開発・普及、教育啓発活動等を行い、環境立県の推進に顕著な功績のあった個人又は団体を顕彰することにより、県内における環境活動を一層推進する。

2 事業の内容

表彰は、次の功績を有する個人等について行う。

(1)環境保全のための実践活動に関する功績

広域的、先導的若しくは長期的な環境保全活動、環境美化活動若しくは緑化推進活動を行い、又は環境行政に協力若しくは従事したこと。

(2)環境保全のための技術等の開発・普及に関する功績

省エネルギー技術、温室効果ガスの排出低減技術その他の環境保全のための技術若しくはそれらの技術を用いた製品の開発若しくは研究、又はそれらの先導的若しくは大量の導入若しくは普及啓発を行ったこと。

(3)環境保全のための情報発信・教育啓発に関する功績

多年にわたり環境保全のための情報の発信、又は学校、地域、企業等における教育啓発活動を行ったこと。

3 背景、現状、及び課題

環境美化、廃棄物の適正処理に対する表彰の他には、環境関連の顕彰制度はなかったため、平成18年度に自然環境保全活動、地球温暖化防止活動、環境教育活動、省エネ技術の開発、導入等といった環境全般にわたる顕彰制度を創設した。

●担当:生活環境部環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話0857-26-7205

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「鳥取県環境立県推進功労者知事表彰制度」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=65295>

ノーレジ袋推進事業 **NEW!**

1 目的

地球温暖化防止と循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルへの第一歩となる「レジ袋削減」を図るため、県下統一した「ノーレジ袋デー」の継続強化等を図る。

2 内容

- (1)「レジ袋無料配布中止(有料化)」取組活動発表会の開催
- (2)ノーレジ袋デー(毎月10日)・マイバッグキャンペーンの実施

3 現状・課題

- (1)東部・中部・西部の県内3地域「ノーレジ袋推進協議会」で、レジ袋削減に向けた具体的取組(レジでの声かけ、店内放送、広報等の強化等)を推進・レジ袋辞退率の目標を設定し、取組を強化
- (2)県民全体にレジ袋削減への動機づけ、きっかけを行うため、毎月10日「ノーレジ袋デー」を継続実施中。
- (3)事業者は「レジ袋無料配布中止に向けて、足並みが揃わない中での実施を懸念。」との意向。
→再度、各地域協議会で実施方法について検討

●担当:生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室 電話0857-26-7879

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「ノーレジ袋推進の取組」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=82375>

カーボンオフセットの推進 **NEW!**

1 目的

「カーボンオフセット」を県民に身近なものとしてとらえていただき、また県内の取組みを推進するため、PRするとともに、温室効果ガス排出削減クレジット発行等に係る申請手数料の支援を行う。

カーボンオフセットとは	自らの削減困難なCO2等排出量について、他者により実現した排出削減・吸収量を用いて、埋め合わせること。
-------------	---

2 現状

○自分のCO2排出量のうち、どうしても削減できない量の削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)すると見なす「カーボンオフセット」の取組が徐々に増加。

○国内クレジット等取得の動きが見え出したものの、依然、認証取得件数が少ない。国内クレジット等の買い手の有無、売買価格の不透明感が原因と考えられ、取組事例の蓄積が必要な状況。

○地球温暖化対策条例においても、温室効果ガス排出抑制の計画や報告に当たって、クレジット等の活用を寄与的取組との位置づけ。

3 事業の概要

(1) 普及啓発

- ・新聞広告等によるPR
- ・カーボンオフセット・シンポジウムの開催

(2) カーボンオフセットの促進

- ・カーボンオフセット商品のPR
- ・カーボンオフセットイベントのPR

(3) 補助金による導入支援

- ・温室効果ガス排出削減クレジット推進補助金

担当:生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室 電話0857-26-7879

参考URL

鳥取県環境立県推進課のwebサイトより

「環境立県推進課」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=118123>

大山トイレマナーアップキャンペーン事業 **NEW!**

1 目的・概要

国立公園大山でのトイレ利用のマナーアップを図るため、キャンペーンを実施するとともに、大山頂上トイレの汚泥をボランティアにより担ぎ下ろすイベントを実施する。

2 内容

(1) 大山トイレマナーアップキャンペーンの推進

大山の美しい自然環境を子供たちに伝え残していくため、「大山トイレマナーアップキャンペーン(平成20年9月1日からスタート)」を推進し、大山頂上トイレのあり方や登山時における用便について、登山者一人ひとりに考えてもらい、マナーやモラルの向上を図る。

(2) 大山頂上トイレ汚泥キャリーダウン・ボランティアの実施

県が管理する大山頂上トイレ浄化槽内の沈殿汚泥の運搬にあたり、出来るだけ自然環境に負荷を与えず、参加者が自ら歩き、自然に親しみながら大山の自然環境を考えることができるよう、人力による汚泥の担ぎ下ろし作業をボランティアイベントとして継続実施する。

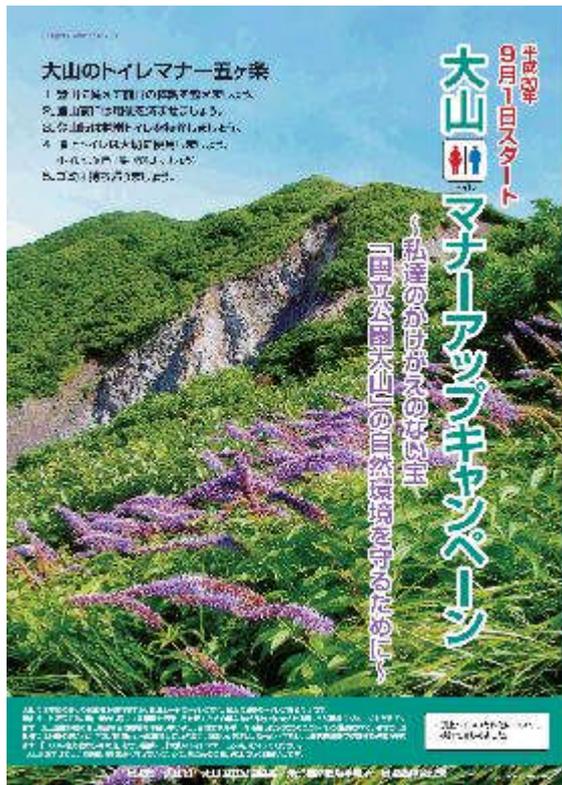
(3) 大山トイレマナーアップ検討会の実施

大山トイレマナー五ヶ条の普及啓発や携帯トイレの使用推進等の検討を行い、大山頂上トイレのあり方等に関する提言を行うため、学識経験者、地元、行政等で構成する「大山トイレマナーアップ検討会」を開催する。

3 これまでの取組状況

(1) マナーアップキャンペーン

平成20年9月1日よりスタート



(2) キャリーダウン・ボランティア

第1回:平成20年9月28日 参加者451名 作業量1.2トン
 第2回:平成21年9月27日 参加者433名 作業量1.0トン

(3) マナーアップ検討会

第1回:平成21年8月21日
 第2回:平成22年3月18日



汚泥の入ったボトル(2リットル容)



頂上での記念撮影



頂上でのボトル受け渡し



登山道に連なるボランティアの方々

●担当:西部総合事務所 生活環境局 生活安全課 動物・自然公園係 電話0859-31-9320

参考URL

鳥取県西部総合事務所生活環境局のwebサイトより

「大山トイレマナーアップキャンペーンについて」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=119788>

衛生環境研究所発信事業 **NEW!**

1 目的及び効果

衛生環境研究所の調査研究の充実を図り、成果を社会に還元していくとともに、情報を積極的に提供する。

(1)調査研究の充実

研究成果を行政施策や対策技術等へ反映し、社会に還元する。

(2)環境情報・感染症情報の発信

- ・環境情報に関する県民のニーズに応え、環境問題に対する関心を高める。
- ・感染症の流行・予防等について県民の関心・注意を促す。

2 事業内容

(1)調査研究の充実

○外部評価の実施

当研究所の行う調査研究について、外部の学識経験者による評価を行い、結果を課題の選定、見直し等に反映する。

○分野別研究会の活性化

大学等研究者との分野別研究会において、最先端の研究者等との情報交流を深め、研究活動の活性化を図る。

○研究成果の積極的な公開

広く一般県民を対象として、当研究所の研究成果や環境モニタリング結果等について公開し、意見や要望を聴取する。

(2)環境情報・感染症情報の発信

ホームページによる環境情報、感染症情報の提供に加え、地元ケーブルテレビにより研究内容を情報発信する。

●担当:生活環境部 衛生環境研究所 企画調整室 電話0858-35-5411

参考URL

鳥取県衛生環境研究所のwebサイトより

「鳥取県衛生環境研究所」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3565>

[➡次のページ](#)

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1. 3 環境立県県民運動の推進

とっとり森林月間 **NEW!**

1 事業の背景と目的

県民共通の財産である森林をみんなで守り育てる意識の醸成を図ることを目的に平成17年度に「森林環境保全税」を導入したことを契機に、木材を積極的に利用することは循環型社会の構築や地球温暖化防止にも寄与することから、「木の日」である10月8日を中心とした10月を「とっとり森林月間」に制定し、「県民参加の森林づくり」をテーマに林業事業者、県民、ボランティア団体等が、それぞれの立場での森林づくりを企画・実施し、森林づくりの活動の輪を広めることを目的としている。

2 事業の内容

林業事業者、県民、ボランティア団体、市町村等がそれぞれ実施する森林づくり活動や体験・参加イベント等を情報提供するとともに、多数の県民の参加について普及啓発を図る。

(活動例)	・とっとり森林環境フォーラム ・竹林フォーラム ・とっとりきのこ祭り ・森林づくり講演会 ・炭焼き・森林施業体験 等
-------	--



【竹林フォーラムの開催状況(平成21年度)】

●担当: 農林水産部 森林・林業総室 森林づくり推進室 電話0857-26-7335

参考URL

鳥取県森林・林業総室のwebサイトより
「緑化・県民参加の森づくり」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=100544>

鳥取方式の芝生化促進事業 **NEW!**

1 事業の背景・目的

校庭等の芝生化には屋外活動の推進、子どもの情緒安定などの様々な効果がある。しかしながら従来、芝生は高価で管理が難しく、気軽に立ち入りができて親しめるというイメージでとらえられてこなかった。



現在、鳥取方式の芝生化として、場所に応じて最適の芝生(洋芝、和芝)を選択、併せて、住民(関係者)も参加しながら最も効果的・効率的な維持管理を実施する取り組みが進み、全国から注目を集めている。

このため、鳥取方式を考案したNPO法人グリーンスポーツ鳥取(GST)と連携し、鳥取方式の芝生化に県として総合的に取り組み、鳥取方式の発祥の地にふさわしい芝生化先進県を目指す。

鳥取方式の芝生化に県として積極的に取組み、鳥取方式の発祥の地にふさわしい芝生化先進県を目指す。

2 事業内容

子どもが自由に運動したり、遊んだりする保育園・幼稚園の園庭、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校庭、広場(公園、空き地も含む)の芝生化を様々な主体と連携しながら加速的に進める。

(1) 県民への情報発信、普及啓発

・鳥取方式の芝生化を考えるシンポジウムの開催
・市町村や学校、施設関係者、県民の理解の促進(平成21年度に作成した芝生化パンフレットやDVDの活用など)

(2) 県施設での芝生化の促進

・GST(NPO法人グリーンスポーツ鳥取)と連携して、目的に合致する県施設での芝生化に積極的に取り組み、適切な初期コストで、後の維持管理のしやすい芝生化の導入手法を選択していく。

(3) 芝生化の支援

・私立保育所・幼稚園及び小中学校を対象に、鳥取方式の発祥の地にふさわしい芝生化に取り組むものへの支援を行う。

(4) プロジェクトチームでの芝生化の促進

・庁内関係課に加え、GSTが技術アドバイザーとして参画したプロジェクトチーム(H21)において、鳥取方式の芝生化の推進に部局横断的に取り組む。



[鳥取市松保保育所]

●担当:企画部 協働連携推進課 地域ネットワークづくり担当 電話 0857-26-7071

参考URL

鳥取県協働連携推進課のwebサイトより
「鳥取方式の芝生化の促進」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=119463>

[前のページ](#) ←

1. すべての主体の連携・協働による環境立県

1.4 大学との連携

鳥取県環境学術研究振興事業

1 事業の目的

本県の環境の保全及び快適な環境の創造に関する政策の推進に資することを目的に、県内の高等教育機関が取り組む環境に関する学術研究に対して助成する。

2 事業内容

鳥取県環境学術研究基金の運用益により、鳥取環境大学をはじめとした県内高等教育機関における環境に関する学術研究に対する助成等。

(1)財源 鳥取県環境学術研究基金の運用益(平成11年3月設置 約30億円)

(2)開始年度 平成13年度

(3)対象機関 鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校

(4)助成額(予算額) 43,000千円

(5)成果の公表

「鳥取産業フェスティバル(仮称)」でH21年度に実施した研究成果の発表を行う予定。

●担当:企画部・青少年・文教課・高等教育・学術振興担当・0857-26-7814

参考URL

鳥取県青少年・文教課のwebサイトより

「環境学術」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=30107>

持続可能な地下水利用検討事業

1 事業の目的

大山南西麓、鳥取平野における地下水の貯留量や水収支の現状、地下水の流動機構の把握を行い、持続可能な地下水利用のあり方を検討する。

2 背景、現状、及び課題

大山周辺地域に大量に地下水を採取する企業が相次いで進出したことに関連し、地下水資源の枯渇や農業用水など他の利水への影響が危惧されている。

鳥取平野では地下水採取による地盤沈下が既に生じている。(現在は沈静化)

大切な資源である地下水を、環境を保全した上で有効に利用していくためには、現状の水位、貯留量などを把握したうえで、持続可能な地下水利用のシステムを構築する必要がある。

3 事業の内容

鳥取大学との共同研究で得られた大山南西麓及び鳥取平野の水収支に関する成果をもとにして、関係機関、専門家を交えた制度検討会を設置し、持続可能な地下水利用に向けた制度検討を行う。

●担当:生活環境部水・大気環境課 水環境保全室 電話0857-26-7197

参考URL

水・大気環境課のwebサイトより

<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4597>